

City Life NEWS

全国で注目される施策や課題は、地域で暮らす私たちにどう影響するのか?身近に起きた出来事やトレンドなど、幅広い分野のニュースを紹介していきます。ネットでもさまざまなニュースを紹介しています。



シティライフNEWS で検索

市によってこんなに違う スプレー缶とボタン電池の ごみの出し方

昨年12月、北海道札幌市で発生した爆発火災事故。室内で大量のスプレー缶のガス抜き作業を行い、ガスが充満した部屋で給湯器を使用したことが発火の原因とされている。同11月には吹田市山田北の量販店で大規模火災が発生。廃棄前のボタン電池同士の接触によって出火したと見られている。これら以外にも、スプレー缶のガス抜き作業やボタン電池の接触による火災は頻発している。不注意や認識不足が大きな事故に繋がる恐れがあるため、適切な処理を行うことが大切だ。

市の指定に従ったごみ出しを

スプレー缶のごみの出し方は各市によって異なるが、ほとんどの市で「使い切ってから出す」ように指定している。特に、ごみを圧縮するプレス式のパッカー車で収集している場合、缶にガスが残っていると圧縮時に車内で発火する恐れがあり、車両だけでなく歩行者にも危険が及ぶ。実際に、ガスが中に残った状態でごみ捨て場に廃棄されているケースは少なくなく、全国的にも収集車の中での火災が毎年発生している。また、不燃ごみに混ぜられたスプレー缶による車両火災も絶えない。そのため、スプレー缶に穴を開けるよう指定している市も多い。誤ったごみの出し方が重大な事故につながるため、各市では、指定に従った処理方法と呼びかけている。

なお箕面市では、2017年から使い切っていないスプレー缶もそのままごみとして出すことができる。これは誤ったガスの抜き方が火災につながる恐れがあるため、回収後に市が安全に中身を出し切ってから処理している。

ボタン電池は時計やゲーム機、補聴器などに使われている電池で、厚みのある小さなボタンのような形をしている。電器店やスーパーなどの専用ボックスで回収している市が多いが、ボタン電池同士が接触すると発熱、破裂の恐れがあるため、正しい分別が必要だ。

正しいごみの出し方を知ろう

アスプレーや殺虫剤などのスプレー缶やカセットボンベには可燃性のガスが含まれている

ため、屋内でガスを抜くのは非常に危険。缶に穴を開けて廃棄する場合は、給湯器など火気のない風通しのよい屋外でガスを出きってから開けるよう、各市では呼びかけている。缶の種類によって正しい抜き方が異なるため、分からない場

合は市の担当課に相談を。ボタン電池は1個ずつセロハンテープなどで絶縁し、電池同士が接触しないようにする。また、ボタン電池に似た形状の「リチウムコイン電池」がある。水銀が含まれていないため、市によっては一般の不燃ごみと一緒に捨てることができるが、ボタン電池との正しい区別が必要だ。ボタン電池は厚みがあるのに対し、リチウムコイン電池は硬貨のように平らで少し大きい。型式記号にCRおよびBRが含まれているので、しっかり見分けて処理しよう。

■ スプレー缶とボタン電池などのごみの出し方

		神戸	芦屋	西宮
スプレー缶	中身	使い切る	使い切る	使い切る
	穴	開ける※2	開けない	開けない
	収集日	カセットボンベ・スプレー缶(燃えないごみ)	その他燃やさないごみ	燃やさないごみ
	収集方法	他の燃えないごみとは分け、カセットボンベ・スプレー缶だけを指定袋に入れて	「スプレー缶や卓上ボンベ類」のみを入れた袋に	ごみステーションの青いコンテナに
ボタン電池※1	市での回収	していない	していない	していない
リチウムコイン電池	市での回収	燃えないごみ	その他燃やさないごみ	燃やさないごみ
	担当課	環境局 事業部 業務課	環境施設課	美化企画課
	電話	078-322-6434	0797-32-5391	0798-35-8653

参考:ボタン電池(SR:酸化銀電池、PR:空気電池、LR:アルカリボタン電池と表記)、リチウムコイン電池(CRまたはBRと表記)
※1 電器店などの回収ボックスに入れる
※2 2020年度から収集車を平置きタイプに切り替えるため、穴を開けずに出す方法に変更予定

ラーメンEXPO2018 開催レポート

6 回目となるラーメンEXPO(主催:シティライフ)は2018年11月30日~12月25日(金土日祝、25日の火曜日)の14日間、万博記念公園のお祭り広場で開催した。

出店するラーメン店は「自称、日本ラーメンを食べた男」として雑誌やテレビなどで活躍する大崎裕史さん((株)ラーメンデータバンク取締役会長=東京都目黒区)はじめ、ラーメンプロガーがオススメする40店。北海道から九州までの人気店が各週10店登場し、伊勢海老やカニ、甘エビ、ウニなどで出汁をとった個性的なものから、とんこつ、みそ、白湯などの本格派まで、各店趣向を凝らしたラーメン



が並んだ。今回は新しい試みとして、ラーメン1杯を800円から650円に、2杯セットなら1杯600円に変更し、量も少なめにして食べ比べしやすいように変更。結果、来場者からは「いろんなラーメンが食べ比べしやすい」と好評で、前回より多くの来場者で賑わった。

ラーメンの他に初開催の「さばEXPO(第1週)」と「ギョーザEXPO(第2~4週)」、「ロハスフェスタ蚤の市」、音楽Liveや「よしもと漫才劇場」、夜には毎年恒例の「イルミネイト万博(主催:万博記念公園マネジメント・パートナーズ)」も開催され、冬の万博記念公園は例年になく盛り上がりを見せた。

2019年はさらにパワーアップして開催できるよう、新企画も盛り込む予定だ。



今回からラーメン2杯セット1,200円(手頃なサイズ)に改定し、食べ比べをしやすいようにした。

体験型イノベーション・ショーケース 「Ex-CROSS」が開催

大阪商工会議所は新規事業として体験型イノベーション・ショーケース「Ex-CROSS(エクスクロス)」を企画・運営することとなった。この事業は、スポーツと最先端技術、さらに音楽ライブを融合させた体験型のイベントで、参加者はイベントで展開されるアクティビティを楽しみ、体験し、実際に触れることができる。また企業は、スポーツ×テクノロジー×音楽などエンターテインメントの新しいビジネスの可能性を実際に体感できるものとしている。

今回、一般参加可能・入場無料(体験は一部有料)のプレイベントを2019年2月22日(金)、23日(土)の2日間、グランフロント大阪 うめきた、SHIPホール、うめきたUMEDAI ガーデンにて実施することが決定した。内容は、カンファレンスやイベント企画企業によるプレゼンテーションに加え、スポーツライミング、デジタル卓球「PONG!PONG!」、サイレントヨガ、大阪エヴェッサによるパフォーマンスのほか、サイ



「大阪エヴェッサ」のプロモーションを展開。大阪エヴェッサによる3人制バスケットボールDEMOプレーや一般参加可能なプログラムなどを実施予定。

クルサッカーやインラインスケート、パラスポーツ等も実施する。

また、本事業のキックオフカンファレンスとして、スポーツ庁長官の鈴木大地氏を招いたクロストークセッションを開催。スポーツ庁が目指すスポーツ産業におけるイノベーションプラットフォームの構築や産業拡大に向けた戦略を紹介する。

【日時】2019年2月22日(金)11時~19時
23日(土)10時~19時
【会場】グランフロント大阪 うめきたSHIP ホール、うめきたUMEDAI ガーデン(大阪市北区大深町)
【主催】舞洲スポーツ振興事業推進協議会(舞洲プロジェクト)うめきた2期みどりイノベーションの融合拠点形成推進協議会